

キャリア・ライフステージ 育成指標		基礎力の形成期		
		初任者研修		
		所属校 (150時間程度)	県教育委員会 (5日間)	総合教育センター Ⅰ(3日間)、Ⅱ(4日間)、Ⅲ(3日間)
教員としての素養		・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進		・本県高校教育の現状と課題 ・服務とその責任 ・社会人としての心構えとコンプライアンスの理解 ・メンタルヘルス不調の要因と対処 ・感情のコントロール ・自己研修の意義と進め方
学習指導力	カリキュラム・マネジメント	・教育課程の理解と年間指導計画の作成 ・消費者教育の進め方 ・環境教育の進め方 ・学校全体で進める道德教育 ・主権者教育の進め方 ・人権教育の進め方 ・健康教育の意義と進め方 ・食育の意義と進め方	・年間指導計画の改善 ・カリキュラム・マネジメントの在り方	・道德教育の意義
	教科教育等の専門性	・教材研究の進め方 ・教材・教具の作成と活用 ・特別活動の指導の実践	・教科の特質と指導の方法 ・個に応じた指導の進め方 ・教科授業の参観と実施 ・授業の分析	・各教科における資質・能力の育成と指導の基礎・基本 ・指導計画・指導案の作成 ・教材研究の進め方 ・教科指導技術の向上 ・総合的な探究の時間の意義と進め方 ・特別活動の指導の意義と進め方
	確かな学力を育む授業	・学習指導案の書き方 ・授業参観の実施と振り返り ・研究授業の実施と振り返り ・授業における生徒理解 ・評価問題の作成の仕方 ・宿題と家庭学習の在り方 ・学習態度の指導 ・個別指導・グループ指導・一斉指導の仕方 ・習熟度別編成による指導 ・通知表の作成の仕方	・学習指導要領の理解 ・いわゆる授業づくり3つの視点を踏まえた学習者中心の授業実践・授業展開 ・指導と評価の一体化に向けた学習評価	・学習指導における生徒理解の基本的な在り方 ・教育実践課題の交流 ・ICTを活用した教科指導
	発達支持的生徒指導	・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際 ・生徒への励ましと賞賛 ・学校における生徒指導体制 ・学校行事の指導の実際 ・学年経営とホームルーム経営の関わり ・ホームルーム組織のつくり方と運営 ・ホームルーム活動の指導の実際 ・ホームルーム事務の進め方 ・教室環境の在り方と整備 ・部活動の指導の進め方 ・(長期)休業中の生徒指導		・情報モラル指導の実際 ・生徒指導の意義と進め方
生徒指導力	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・不登校生徒への対応 ・問題行動の理解と指導の進め方 ・いじめ防止とその対応		・問題行動の理解と指導の進め方
	教育相談	・発達支持的教育相談と課題予防的教育相談 ・教育相談体制の理解		・カウンセリング技法の基礎・基本 ・教育相談の進め方
	学校組織における連携・協働	・学校教育目標と経営の重点 ・学校組織と運営		
マネジメント力	危機管理	・学校安全の意義と進め方		・教育情報セキュリティポリシー
	関係者等との連携・協働	・PTAの組織と運営 ・地域社会における組織、関係機関の役割と連携・協働の実際 ・保護者との面談の進め方		
復興教育の視点		・「いわての復興教育」の実際		・「いわての復興教育」の意義
キャリア教育の視点		・キャリア教育の進め方		・いわてのキャリア教育の意義
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点		・特別支援教育の校内体制の理解 ・個別の指導計画等の活用 ・交流及び共同学習の意義と実際		・特別支援教育の意義 ・発達障がい等の基本的理解と支援の在り方 ・多様性と包摂性のある学校の在り方
ICTや情報・教育データの利活用の視点			研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、	

※ 複数の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。

計画【高等学校教諭 基本研修内容】

基礎力の形成期				
2年目研修			3年目研修	
所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	総合教育センター (2日間)	フォローアップ研修 (1日間)	所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	総合教育センター (3日間)
・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議		・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議
	・教科指導における学習内容の系統性、発展性の理解	・教科授業の参観と実施 ・個に応じた指導の進め方		・指導と評価の一体化の在り方
・校内授業研修(年間1回5時間程度)	・学習者中心の授業実践・授業改善の視点 ・ICTを活用した教科指導		・校内授業研修(年間1回5時間程度)	・個に応じた指導の進め方(生徒の特性や学習状況の理解等に応じた指導の進め方) ・ICTを活用した教科指導
				・ホームルーム経営と担任の実務
				・いじめ防止と対応の進め方
				・自殺予防教育の組織的進め方と個への対応 ・教員と生徒の望ましい関係づくり
	・事件・事故災害発生時の危機管理			
	・「いわての復興教育」の在り方			
	・キャリア教育の現状と課題			

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。